

2009年(平成21年)12月期 第3四半期累計 財務・業績 概況

株式会社 ノーリツ

本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

2009年(平成21年)12月期 第3四半期累計 連結経営成績①

●第3四半期累計 連結経営成績

◇コスト構造の見直しにより、利益面が大幅に改善

◆経営環境悪化による売上高の減少傾向はかわらず

(単位：百万円)

連結	08年(H20)12月期	09年(H21)12月期		08年(H20)12月期	09年(H21)12月期	
	第3四半期累計	第3四半期累計	対前年増減率	通期	通期(予想)	対前年増減率
売上高	129,343	119,693	△7.5%	181,254	165,000	△9.0%
営業利益	830	1,491	79.6%	3,445	2,200	△36.1%
経常利益	1,211	1,829	51.0%	3,102	3,000	△3.3%
四半期純利益	154	191	23.8%	△1,796	500	—

2009年(平成21年)12月期 第3四半期累計 連結経営成績② 《参考資料》

●四半期別 連結経営成績

(単位：百万円)

連結	09年(H21)12月期					
	第1四半期	対前年 増減率	第2四半期	対前年 増減率	第3四半期	対前年 増減率
売上高	42,661	△6.8%	37,373	△8.0%	39,659	△7.7%
営業利益	791	△30.3%	71	—	629	109.7%
経常利益	1,221	30.3%	203	194.2%	405	97.6%
四半期純利益	981	305.4%	△274	—	△516	—

2009年(平成21年)12月期 第3四半期累計 連結経営成績③

●営業利益増減要因

(単位：億円)

連結営業利益増減要因 (前年対比)	金額	
	プラス	マイナス
台数増減や商品ミックスなど		△ 45.6
販売価格変動		△ 6.0
原材料費変動	11.7	
製造費用増減	13.1	
販管費増減	33.8	
為替影響		△ 0.4
合計	58.6	△ 52.0
営業利益増減額	6.6	

- ◆新設需要の減少によりガス温水機器、住設システム商品の販売台数が減少した。
- ◆温水機器の売価率は、コンデンシング比率が上昇し改善した。一方、住設システム機器は、普及価格帯商品が増加し、売価率が悪化した。

◇原材料費、製造費用低減は引き続き順調に進捗した。

◇グループ会社含め販管費全ての項目を見直し合計33.8億削減した。

2009年(平成21年)12月期 第3四半期累計 連結経営成績④

●経常利益、当期利益増減要因

◆経常利益について

(単位：億円)

連結営業外収支増減要因 (前年対比)	金額	
	プラス	マイナス
為替差損益	3.3	
受取利息・配当金ほか		△ 3.7
合計	3.3	△ 3.7
営業外収支増減額	△ 0.4	

◇営業外収支が前年同期比
0.4億円悪化したが、経常利益
は前年同期比51%増となった。

◆四半期純利益について

◇投資有価証券評価損を17億円計上したが、繰越欠損金による
税効果などにより、前年同期比24%増となった。

2009年(平成21年)12月期 第3四半期累計 セグメント情報①

●第3四半期累計 セグメント情報

(単位：億円)

連結	08年(H20)12月期		09年(H21)12月期				08年(H20)12月期		09年(H21)12月期			
	第3四半期累計		第3四半期累計				通期		通期(予想)			
	売上高	営業利益	売上高	対前年増減率	営業利益	対前年増減率	売上高	営業利益	売上高	対前年増減率	営業利益	対前年増減率
国内温水空調機器	796	19	729	△8.3%	11	△40.4%	1,119	42	995	△11.1%	19	△54.8%
海外温水機器	113	△2	114	1.1%	5	—	146	△6	147	1.1%	3	—
住設システム機器	148	△10	130	△12.1%	△11	—	201	△12	182	△9.7%	△12	—
厨房機器	166	△3	162	△1.9%	2	—	250	1	245	△1.9%	5	400.0%
その他	69	5	59	△14.6%	6	19.4%	95	9	79	△17.0%	7	△22.2%
連結合計	1,293	8	1,196	△7.5%	14	79.6%	1,812	34	1,650	△9.0%	22	△36.1%

◇国内温水空調機器

- ・分譲マンション、戸建住宅などの新設需要減少により、ガス温水機器の販売台数が前年同期比8%減少した。環境配慮型「エコジョーズ」「エコフィール」は増加したが、売上高、営業利益ともに減少した。

◇住設システム機器

- ・住設システム機器の総需要が減少し、システムキッチンの販売台数は前年同期比12%減少した。また、システムバスの販売台数も前年同期比8%減少した。

◇厨房機器

- ・ビルトインコンロの総需要減少の影響を受け、販売台数が減少し売上高は微減した。しかし、取り替えでの付加価値商材の販売が好調で営業利益の黒字化が図れた。

2009年(平成21年)12月期 第3四半期累計 セグメント情報② 《参考資料》

●四半期別 セグメント情報

(単位：億円)

連結		09年(H21)12月期					
		第1四半期		第2四半期		第3四半期	
			対前年 増減率		対前年 増減率		対前年 増減率
国内温水空調機器	売上高	277	△7.6%	213	△9.5%	238	△8.1%
	営業利益	10	△39.4%	△1	—	1	△63.1%
海外温水機器	売上高	32	△10.5%	41	2.4%	40	11.5%
	営業利益	0	—	2	—	2	—
住設システム機器	売上高	42	△8.5%	44	△14.9%	43	△12.7%
	営業利益	△5	—	△3	—	△3	—
厨房機器	売上高	54	5.6%	54	△1.4%	54	△8.9%
	営業利益	△1	—	0	—	3	—
その他	売上高	19	△13.9%	19	△10.5%	20	△18.8%
	営業利益	2	50.6%	2	20.0%	2	△3.2%
連結合計	売上高	426	△6.8%	373	△8.0%	396	△7.7%
	営業利益	7	△30.3%	0	—	6	109.7%

2009年(平成21年)12月期 第3四半期累計 主要品群(国内)販売台数 《参考資料》

●第3四半期累計 主要品群販売台数

(単位：千台)

連結		08年(H20)12月期 第3四半期累計		09年(H21)12月期 第3四半期累計				
		台数	シェア	需要	前年比	台数	前年比	シェア
温水 機器	ガス風呂釜	455	40.1%	1,071	94.2%	416	91.3%	38.8%
	ガス給湯器	290	33.9%	778	90.8%	271	93.4%	34.9%
	石油給湯器	87	38.2%	228	100.0%	88	101.7%	38.9%
	小計	833	37.5%	2,078	93.5%	776	93.1%	37.4%
S B(戸建)		20	4.0%	487	92.3%	19	91.5%	3.9%
S K(戸建)		8	1.9%	410	90.1%	7	87.7%	1.9%
洗面		70	5.7%	1,125	91.4%	71	102.1%	6.4%
ビルトインコンロ		269	34.9%	721	93.3%	254	94.3%	35.2%

※需要は全て当社推定

※ビルトインコンロは1口除く

2009年(平成21年)12月期 第3四半期累計 海外事業

●第3四半期累計 海外事業

(単位：台数：千台、売上高・営業利益：億円)

連結	08年 (H20) 12月期			09年 (H21) 12月期		
	第3四半期累計			第3四半期累計		
	台数	売上高	営業利益	台数	売上高	営業利益
北米	47	44 (41百万US\$)	—	47	41 (43百万US\$)	—
アジア	248	58	—	301	62	—
その他	42	12	—	38	12	—
合計	338	115	△ 2	387	116	6

◇売上高

- ・販売台数が前年同期比14%増加したが、為替の影響で売上高は微増にとどまった。特に、中国での販売が好調で販売台数が前年同期比21%増加した。

◇営業利益

- ・販売台数の増加と原価低減、経費削減により、営業利益の黒字化が図れた。

2009年(平成21年)12月期 第3四半期累計 設備投資・減価償却・研究開発費

●設備投資・減価償却・研究開発費の状況

(単位：億円)

連結	設備投資額			減価償却費			研究開発費		
	08年 (H20) 12月期	09年 (H21) 12月期		08年 (H20) 12月期	09年 (H21) 12月期		08年 (H20) 12月期	09年 (H21) 12月期	
		計画	通期 (見込み)		計画	通期 (見込み)		計画	通期 (見込み)
国内	52	51	47	61	60	56	—	—	—
海外	8	4	4	5	4	4	—	—	—
合計	60	55	51	66	65	60	56	54	53
(内) 金型投資	(18)	(22)	(16)						